

令和5年度福岡県嘉穂・鞍手保健所運営協議会議事（要旨）

1 日 時 令和5年11月15日（水）14：00～15：04

2 場 所 飯塚市立岩交流センター 2階 第4研修室

3 出席者 委員13名 代理出席4名 合計17名

4 議 事

(1) 嘉穂・鞍手保健所運営協議会各部会の報告

令和5年度の部会について報告、説明を行った。次のとおり、委員から意見があった。

ア 救急医療部会

<飯塚地区>

◆開催期日：令和5年8月7日（月）

<直鞍地区>

◆開催期日：令和5年8月30日（水）

(委員A)：当地域の夜間小児救急外来の受け入れが無くなったということで、必要が生じれば、その時は遠方の北九州市や福岡市まで受診に行かなければならない。

当地域の総合病院で受け入れは出来ないのか。何らかの対応をお願いしたい。

(事務局)：関係医療機関に御意見の内容を説明し、今後どういう形で進めていくか検討したい。

(委員B)：現在、0歳児から受診可能な急患センターの開設に向けて準備しているところ。

イ 保健事業部会

◆開催期日：令和5年8月16日（水）

ウ 精神保健福祉部会

◆開催期日：令和5年8月3日（木）

(2) 福岡県嘉穂・鞍手保健所における実績報告等

令和4年度の実績報告について、業務概要により説明を行った。次のとおり質疑応答があった。

ア 総務企画課（企画指導係）

イ 健康増進課（健康増進係、精神保健係）

(委員)：自殺者の数について、令和3年度に比べて令和4年度は減少しているということであったが、小中高生の自殺は過去最多と聞いている。

全体としては減少しているのかもしれないが、若年者の自殺について管内ではどういった状況か。

(事務局)：やはり、若年者の自殺は増加傾向にあり、課題となっている。

その対策は非常に大事である。

関係者等と情報交換や連携をしながら体制を作っていくと考えている。

ウ 保健衛生課（食品衛生係、生活衛生係、感染症係）

(3) トピック「健康危機対処計画（感染症編）について」

資料を使用し、説明を行った。次のとおり質疑応答があった。

(委員)：今回、新型コロナのパンデミックにおいて、業務について保健所に大変負荷がかかったのではないかと。

体制強化、体制作りについて感想でも良いので伺いたい。

(事務局)：外部委託や、また、情報の一元化等をITを使いながらどのように乗り越えていくか現在考えている。

5 その他 質疑応答・意見等

(委員A)：小児一次救急について、現在、関係機関と協議中。

精力的に協議検討し、進めている。

(委員B)：「不妊・不育と性の相談センター」というのを今回初めて知った。

既に広報等を行っているのか。

(事務局)：当初10月1日開始予定であったが、準備が遅れている。

準備が整い次第、公表～実施ということになっている。

近々公表の予定である。